



2025-2026 RI 会長:フランчесコ・アレツツォ 2570 地区ガバナー:坂口孝 会長:晝間和弘 幹事:後藤健

11号 3405例会 2025年 9月 18日(木)

R財団寄付表彰

ポールハリスフェロー 吉田勉会員



ポールハリスフェローとはロータリー財団に累積1,000米ドル以上の寄付をした個人を称える認証(称号)と細淵会員が説明されました。

❀会長の時間❀

去る9月14日日曜日、東松山文化センター大会議室において開催されました、新会員ラーニングセミナーについてご報告いたします。

入間 RC からは地区ラーニング委員会 水村委員長、長谷川会員と私で参加いたしました。

第1部では、ロータリーの基本について学びました。水村ラーニング委員長より「ロータリーの歴史」について講演をいただき、1905年のロータリークラブ創設時の目的は会員の事業利益の増大と社交クラブとしての親睦の2つの目的から始まり、初めての奉仕事業の公衆トイレの設置、それに反対する百貨店事業者等いて設置まで3年かかった事や1989年に女性会員が認められるなど今日に至るまでの歩みを振り返ることができました。

続いて、ラーニング委員会の小高副委員長から「ロータリーの基本理念」について、四つのテストや職業奉仕の精神、ロータリーの目的など、私たちが大切にすべき価値観について詳しくお話いただきました。

第2部では、より実践的な内容を学びました。ラーニング委員会の山本委員からは「地区とクラブの組織と現状」について、私たちの組織がどのような構造になっているか、ラーニング・会合プログラムの関係として地区



晝間和弘会長

チームラーニングセミナー(DTLS)地区役員・委員長が参加し地区運営を学ぶ(地区研修セミナー)、会長エレクトラーニングセミナー(PELS)前のペッツ、クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)前の地区協議会など名称の変更等の現在の課題クラブ数がピーク時には56クラブで現在が44クラブと減少傾向にあると説明いただき会員数が減ると他地区と吸収合併される可能性があるとのことでした。

続いて、田村委員からは「ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会」について、これらの重要な事業の意義と私たちの参加方法についてお話いただきました。

続きまして坂口ガバナーからは講話をいただき、川越ロータリークラブが日本で初めてロータリーアクトを設立(1968年6月1日)したという貴重な歴史についてお聞かせいただきました。この先駆的な取り組みは、若い世代への奉仕活動の普及という点で重要な意味を持っており、私たち地区の誇るべき歴史の一つです。

セミナー終了後、橋本第4グループガバナー補佐、渡邊第5グループガバナー補佐からも貴重な感想をいただき、新会員の皆様にとって非常に有意義な学びの機会となったことを確認できました。

駆け足でたくさんの部門のセミナーをしたので長谷川会員も戸惑いもあったとは思いますがとても良いセミナーでしたので入間 RC でもラーニング例会を開催しセミナーを通じて、ロータリアンとしての理解を深め、より良い奉仕活動につなげていけたなら良いと実感いたしました。

<幹事報告>

後藤健幹事

回覧しております10月16日の南ロータリーとの合同例会出欠席と昼のゴルフ案内にお目通し下さい。よろしくお願いします。



＜委員長報告＞

[プログラム委員会] 駒形一人委員長

来週は夜間例会となっていますので、お間違いない様お願い致します。

＜出席報告＞ 駒形一人委員

会員数	出席数	出席率	前週修正率
41 名	26 名	68.40%	71.00%

事前欠席連絡 9 名

＜ニコニコBOX＞ 新井格SAA

🌸 晝間和弘君, 後藤健君, 繁田光君, 新井格君, 駒形一人君

ことわ荒太先生ようこそ入間RCへ。卓話宜しくお願い致します。楽しみにしています。

🌸 友野政彦君

ことわ先生ようこそ入間RCへ。ご本購入いたします。

🌸 滝沢文夫君

だいぶ前に映画「国宝」を観ましたが、先日は映画「8 番出口」を観てきました。内容は雲泥の差がありました。

本日¥7,000 累計¥229,000

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信 9 月号
- ② 10/16 入間南合同例会ご案内と出欠表
- ③ 10/16 合同ゴルフコンペ出欠表
- ④ 旭会員のご子息紹介(合同例会卓話)
- ⑤ 9/25 秋色例会出欠席表
- ⑥ メジャードナー顕彰午餐会のご案内
- ⑦ ロータリーの友ポリオ根絶活動大募集
- ⑧ 2028-2029 年度ガバナー候補者の公表
- ⑨ ロータリー財団地域セミナーお知らせ
- ⑩ LINE 地区公式お友達登録手順
- ⑪ 他ロータリークラブ週報
- ⑫ 入間 RC 週報 10 号
- ⑬ 9, 10, 11 月プログラム



■■■講師卓話■■■

小説家になって初めて知ること

ことわ 荒太 先生

作家活動のきっかけ (3 つのピース)

1. 強い後押し：著名作家からの励まし
2. 人生最大の非日常的感情体験
3. 書き方の気づき：一瞬の「魔法の気づき」で筆が動き出す
 - ・出版形態と運用 Amazon Kindle 電子出版 (初期費用ゼロ、印税は売上に応じて課金方式)
 - ・マネージャー体制あり。家族には段階的に開示 (印税の発生に伴う説明)

◎主な作品とテーマ

月の裏に望む：人間の「闇」を描くオムニバス (臨床で触れる多様な人生・葛藤を物語化)
部畜：高校野球部を巡る大人側の問題構造を題材にした作品 (2024 年 6 月リリース)
 これまで 8 作品を刊行。現在は創作休止中再開は未定だが期待に応えたい意向

◎創作で得た学び

- ・自身の「面倒くさい性格」が創作で生き、独特の再読性ある文体に昇華
- ・他者期待は当てにならない：想定外の読者が支えとなり他者への接し方が丁寧に変化
- ・筆名による別人格の獲得で、対人・登壇の苦手意識を克服し行動範囲が拡張
- ・キャリア観・メッセージ
- ・「逃げ切れる人生」に疑問を持ち、恐れを抱えつつも挑戦した価値
- ・作品は「いつか当たるかもしれない宝くじ」の様な資産と捉え、長期的視点で継続意欲
- ・プロットを立てる、キャラクターの自律性が進むほど想定外の会話・展開が生まれる
- ・終わり方 (エンディング) が最重要。つかみは要点を押さえ退屈さを避ければよい
- ・小説執筆は「文章作成」とは異なる認知負荷で、人物設計と内的対話が鍵

執筆活動を通じて得た人間性の洞察や、別の人格を持つ事で人前で話せるようになった自己成長について触れ、創作活動の困難さと、作品を「永遠に有効な宝くじ」と見なす考えをお話しました。又、お席を設けていただけましたら、印税等のお話しを出来ればと思います。本日はありがとうございました。

発行 入間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email : iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：宇野健一

